

オンラインセミナー
2050年脱炭素社会の実現に向けて
私たちができること

神奈川県・IGES共催

室橋祐貴（日本若者協議会代表理事）

令和6年1月24日

JYC 日本若者協議会

【日本若者協議会の概要】

正式名称：一般社団法人日本若者協議会

事務所：東京都、関西支部、関東支部、東北支部

設立年：2015年11月（準備会を2015年1月に若者有志数名で発足）

代表理事：室橋 祐貴

目的：若年層の意見を汲み取り、アドボカシーを通じて政策決定の場に若年層の意見を反映させ、若年層及び将来世代が生きやすい社会の実現に資すること。

個人会員・団体会員数：約940人 / 76団体

合計約5000人



【プロフィール】

室橋 祐貴
日本若者協議会代表理事

若者の声を政治に反映させる「日本若者協議会」代表理事。
慶應義塾大学経済学部卒。同大政策・メディア研究科中退。
大学在学中からITスタートアップ立ち上げ、BUSINESS INSIDER
JAPANで記者、大学院で研究等に従事。

専門・関心領域は政策決定過程、デジタルガバメント、社会保障、
財政、労働政策、若者の政治参画など。

文部科学省「高等教育の修学支援新制度在り方検討会議」委員

Yahoo!ニュース エキスパート、月刊潮、教育新聞
日本経済新聞Think!エキスパート など連載&コメンテーター



気候市民会議とは何か？

くじ引き（無作為抽出）で選ばれた一般市民が、気候変動対策について議論し、政府に提言する取り組み

- ・ 選挙（人気投票）ではなく、くじ引き（無作為抽出）での選出
- ・ 専門家からのインプットを受けて、一定期間議論する
- ・ 政策決定に提言を反映させる

= 新しい市民参加のあり方（民主主義のアップデート）

気候市民会議の日本への展開

民間主導：

- ・気候市民会議さっぽろ2020（2020年11月から12月まで、計4回、20名）
- ・2021年脱炭素かわさき市民会議（2021年5月から2021年10月まで、計6回、75名）

自治体主導：

- ・東京都武蔵野市 気候市民会議（2022年7月から11月まで、全5回、無作為抽出41名と公募27名の計68名）→想定以上に参加者が集まる。気候変動対策を考えるきっかけに
- ・埼玉県所沢市 マチごとゼロカーボン市民会議（2022年8月から12月まで、全5回、約30名）
- ・東京都渋谷区 シブヤ若者気候変動会議（2022年7月～2023年3月）
- ・2023年度 神奈川県逗子市・葉山町、つくば市、日野市、厚木市、多摩市で開催

日本若者協議会「日本版気候若者会議」という独自の取り組みを2021年から開催

日本版気候若者会議

<https://youthclimateconference.jp/>

2021年、2022年、2023年に開催

主催：日本若者協議会

事務局：若者団体のメンバーらで構成

協力団体：持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム（JYPS）、Climate Youth Japan、Change Our Next Decade、Climate Youth Japan、Earth Guardians Japan、ほか

参加者：30代以下、団体枠と一般公募で募集（100名程度）

提言：専門家によるインプットや事務局による論点整理を行った上で、参加者自身が提言書を作成

政府、主要政党、経済団体を主な相手に提言

なぜ若者に特化した、日本版気候若者会議を開催したのか？

マイナス（消極的）の理由

- ・ 環境省が気候市民会議の開催に乗り気じゃなかったから
2020年8月 環境省に「気候市民会議」の開催を提案
- ・ 全国規模で無作為抽出の実現性が低い（多額の予算や人員が必要）
- ・ 気候変動への国民的関心が他国に比べて弱い

プラス（積極的）の理由

- ・ 少数者であり発言力の弱い若者の声を政策決定過程に入れる（エンパワメント）ため
- ・ 若者団体同士の連帯を強めるため
→ 様々な若者団体と連帯して、「日本版気候若者会議」を開催へ（事務局を共同設置）

日本版気候若者会議2021



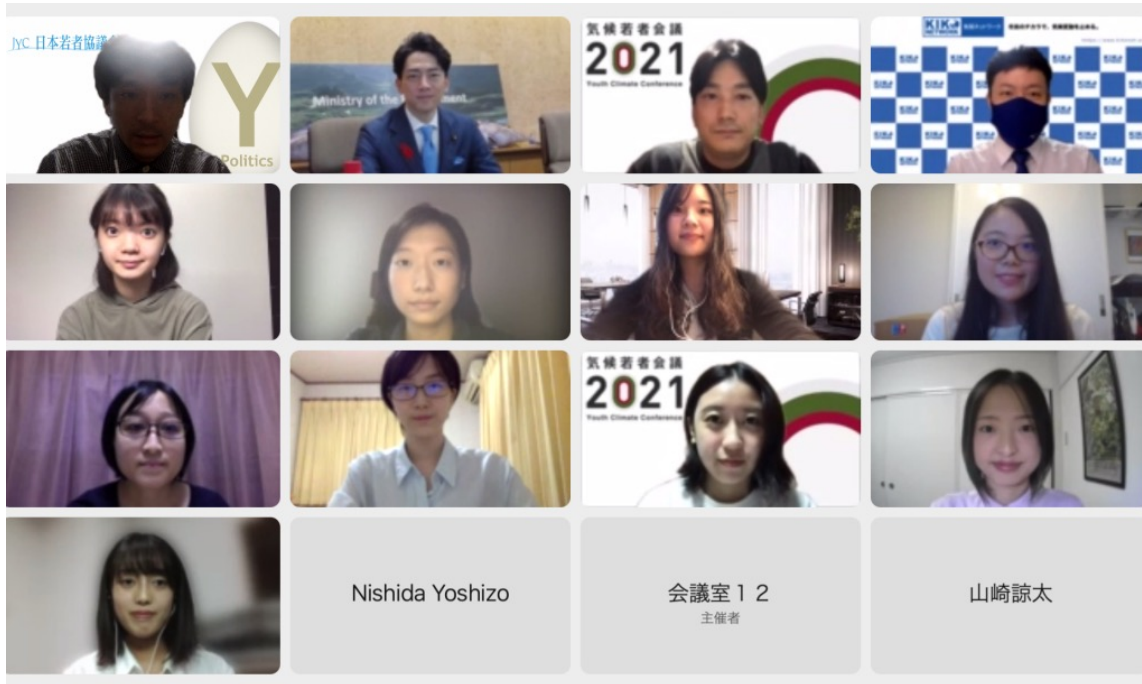
日本版 気候 若者 会議

ミッション	2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを達成するための手段・政策を提言すること
参加者	推薦枠40名程・公募枠60名程
期間	10週間（5月~8月 毎週日曜）
会議の進行	インプット→議論→アウトプット
提言	消費/移動/住/食/産業・生産/総合計 70
運営	日本版気候若者会議事務局 (複数の若者団体を横断した共同事務局) (アドバイザーに相談)



日本版気候若者会議2021

小泉進次郎環境大臣への提言



経済産業省・資源エネルギー庁への提言



日本版気候若者会議2021

主な提言（全62頁）

【消費】

- ・ゼロウェイスト宣言と全国的な発信
- ・カーボンフットプリントのわかりやすいラベリング方法の提案

【移動】

- ・自転車まちづくり計画策定と自転車利用の促進
- ・電動車導入支援

【住む】

- ・既存住宅における省エネ改修の推進
- ・HEMSの普及促進

【食】

- ・ドギーバッグの普及
- ・食品の環境負荷を表す規格の導入・推進

【産業・生産】

- ・再エネ100%
- ・過剰生産に対する規制

【総合】

- ・気候市民会議の創設
- ・環境教育の拡充

日本版気候若者会議2022

主要政党、政府、経済団体に提言



自民党に提言



山口壮環境大臣に提言



JCLPに提言

日本版気候若者会議2022

主な提言（全46頁）

【需要】

- ・ワンウェイプラスチックの原則使用禁止
- ・カーボンフットプリント表示義務化制度

【生活】

- ・都内一部区域のロードプライシング
- ・断熱住宅建設の推進に向けて

【産業】

- ・公正な移行に向けた労働者保護、リカレント教育
- ・エネルギーについての熟議の日を策定
- ・炭素税率の引き上げ

【国際人権】

- ・人権DDに関する取り組み・調査推進のための資格
- ・人権教育の強化
- ・総合的なエネルギー供給網の国際輸出

【未来社会】

- ・アマモを利用した生物多様性の保全と環境問題への意識改革
- ・デジタルプロダクトパスポート(DPP)の導入・義務化
- ・ドーナツ経済指標の国及び自治体レベルへの導入

日本版気候若者会議2023

2023年8月9日～10月29日まで計7回開催

政府、主要政党、経済団体に提言予定

テーマとして、新しく「生物多様性」を追加

掲載メディア

[「日本版気候若者会議」で学生ら80人が議論 今年ネット意見も（朝日新聞）](#)

[「気候変動対策って何時代に戻ったらいいですか？」→専門家「違います」。「日本版気候若者会議」で目指](#)

[す民主主義のアップデート（ハフポスト）](#)

[「やがて、気候変動の影響を被るのは若者世代！」アクションを起こすリーダーたちの声をお届け](#)

[（COSMOPOLITAN）](#)

[1.5℃の約束 いますぐ動こう、気温上昇を止めるために（NHK）](#)

大学内での取り組み

龍谷大学学生気候会議



お茶大版気候市民会議

お茶大版
気候市民会議に
参加しませんか

日時：2023年2月9日(木) 10時～18時
10:00～10:15 オープニング
10:15～12:00 平岡仁子さんから気候変動についてのご講演
12:45～16:30 テーマごとにディスカッション
16:40～17:20 発言発表
17:30～18:00 ケローギング

場所：国際交流留学生プラザ2F (対面のみ)

対象：お茶大生 ご参加いただける方には事前準備金として3300円をお支払いたします。
お茶大生も参加可。教職員、学外の方は見学のみの可。

主催：お茶大版気候市民会議運営委員会
公益財団法人三葉のJ種特別協賛の支援を受けて開催しています。

参加申し込み・お問い合わせはこちら→

お茶の水女子大学 御中

お茶の水女子大学における 環境問題に関する提言

2023年2月9日
お茶大版気候市民会議

お茶大版気候市民会議

目的：大学内のCO2削減を促す & 大学の意思決定に学生の声を反映

日時：2023年2月9日10時～18時

場所：お茶の水女子大学国際交流留学生プラザ（対面のみ）

対象：お茶の水女子大学学生

規模：34名

議論テーマ：「電気を使う」「電気を選ぶ」「食」「水」「植物」

当日まとめた提言内容を加藤美砂子 理事・副学長に手交

後日（9/25）、フォローアップとして、

学長や理事、担当課長らと進捗確認（提言に対して個別に回答）、

学生と懇談会

その後、大学生協食堂が営業時間外に学生に開放（省エネ目的）、

啓発用ステッカーを学生が作成し、キャンパス内に貼るなど



お茶大版気候市民会議

主な提言

電気を選ぶ

- ・学生の大学運営への参加（電気を選ぶ場への学生の参加）

電気を使う

- ・お茶大版アースアワーの導入（年に2回程度、消灯する）
- ・学内の移動における節電対策（階段に目安消費カロリーを表示する）

水

- ・音羽館（学生寮）で部屋ごとの水道使用量を開示（現状は水道料金が一定であるため、節水への意識の向上が見込めない）
- ・植物由来石鹸の設置

食

- ・堆肥作り
- ・フードロス削減（余った食材を販売など）

植物

- ・グリーンカーテン・屋上緑化